

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年3月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800178
法人名	社会福祉法人 鶴寿会
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	鹿児島県出水市汐見町89番地 (電話) 0996-67-5626
自己評価作成日	令和4年2月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームひまわりは、恵まれた自然環境の中で、広々とした施設が特徴で、一年を通して季節を感じていただけるよう季節の行事に力を入れ、唄声や笑い声が常に響いている家庭的なグループホームです。利用者様一人ひとり、尊重した暮らしが出来るように生活歴の把握、思いや意向の把握に努めています。常に利用者様を主としたケアに取り組んでいます。家庭的な雰囲気の中で職員一人一人が入居者様と生活を共にしている事を意識し、ゆっくりと関わりをもつように、落ち着いた環境でゆっくりコミュニケーションをとり、居心地よい温かい生活、安心、安全な生活が送れるよう努めています。職場環境においても、研修の充実、労働時間など働きがいのある職場づくりに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は広大な土地に同法人の関連施設が多く隣接し、同法人の全体的な行事等において協力体制ができています。
- ・利用者はゆったりとした時間を過ごすことができている。
- ・施設の福利厚生も整っており、職員は働きやすい環境に恵まれ、隣接する関連施設等とは、災害時はもちろん、母体の協力医療機関とは医療連携体制ができており、看護師の緊急時の対応にも協力的である。
- ・職員の質の向上について支援体制ができており、各研修にも参加できるよう勤務調整等ができています。職員の意見や要望にも傾聴し勤続年数の延長にもつながっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り毎朝申し送り時に理念を唱和している。理念は「さりげない見守り」「家庭的な雰囲気づくり」「その人らしさを大切にケアします」としている。	事業所独自の理念がある。各ユニットの玄関口にも掲示し重要事項説明書にも掲載している。毎日の申し送り時に唱和し、月ごとの職員ケア会議で振り返りを行っている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	法人全体で開催されるイベントは、新型コロナウイルス感染防止の為、中止されている。	法人全体で行われる夏祭りや敬老会は地域の人や家族も参加して交流の場となっているが、コロナ感染防止の為に自粛している。地域から窓口相談を受けている。実習生の学生はオンラインにて受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症等に関していつでも相談に応えられる認知症サポート相談窓口として地域に紹介されている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は、2ヶ月毎に利用者・家族代表・民生委員・地域包括支援センター・法人評議員・法人理事が出席し、行事の実施報告研修報告・ヒヤリハット報告・ご家族からの苦情要望、身体拘束報告を行い、話題は限定せずに意見交換してサービスの向上に活かしている。	会議は2ヶ月に1回、現状報告やヒヤリハット・課題等の報告を行い、委員からの要望や提案を聞いている。コロナ感染防止の為に書面開催の時もあった。意見はサービス向上に活かしている。風呂場のすべりやすい所があり、改修した。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市担当者とは、日頃から制度や各種の手続きに関する相談を訪問や電話で行い、状況に応じた助言や・指導を受け連携を取っており、協力関係が築かれている。	市担当者は、運営推進会議に参加をもらい、電話や窓口訪問して各種手続きや事業所の現状を報告し意見や提案を得ている。市の研修はリモートで参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束等の適正化の為に指針に基づき委員会を3ヶ月毎に開催し、管理者に議事録で報告し、運営推進会議で報告の機会を設けている。	身体拘束適正化委員会を年4回マニュアルを基に開催し勉強会を開催している。言葉に対しては、管理者や職員でその都度お互いに注意している。ケア会議で人権擁護等勉強会も行っている。玄関の施錠は昼間はしていない。言葉の拘束も含めて拘束のないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	言葉使いや、態度等、職員同士で注意し合うように心がけている。その時のニュースや新聞記事などで検討し、話し合いをしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護、並びに人権に関する施設内研修を毎年度行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時には、重要事項説明書を読み上げ、料金改定時には、家族に直接説明を行い理解、納得を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様には常に声を掛け要望を引き出す努力をしている。ご家族には、面会時や電話の際に意見や要望を聞く時間を設けている。	利用者には日常の生活の中で思いを聞いている。家族からは窓越しの面会時や担当者会議に参加の時・電話・ひまわり通信に写真を添え送付し、聞き取りをして情報を得て運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	代表者は、法人事業所全体の職員会議や運営会議を通して意見や要望を聞いて業務改善や利用者のサービス向上に反映できるように取り組んでいる。	日常の支援の中で意見が出やすく、法人全体の職員会議やケア会議で職員の意見や要望を挙げ、運営に反映させている。職員の意見により、ドアの開閉の音がしていたので改修したり、血圧計・ロッカー等の購入を行った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	昇級、賞与等定期的に行っている。各人のスキルアップのために便宜を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>勤務のローテーションを図りながら全職員が研修を受ける機会を得られるように配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>出水・川薩支部認知症グループホーム連絡協議会に加入し、研修に参加し、お互いの研鑽を重ねている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人への声掛けを多くし、その方の生活歴を聞いたりして安心してもらえるような関係を作る努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時には、これまでの生活状態、心身状態を聞き取り、問題になっている事や要望を明確にした上で、ホームでどのように過ごしていきたいのかを伺っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所希望があった時は、可能であれば、本人も施設見学をしてもらい、必要性等検討している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、野菜の下ごしらえ、作品作りなど一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族が抱える悩みや心配事も話し合える信頼関係を築ける様に面会時などにコミュニケーションをとっている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人の希望に沿って、外出の機会を設けている。遠方に居住している家族とは電話やハガキの取り次ぎ等により関係が途切れないように支援している。</p>	<p>家族や知人等は窓越しの面会を実施している。受診時や個々の希望でドライブに行き馴染みの場所を眺めている。家族との電話の取次ぎをしたり、はがきの手伝いの支援をして関係継続に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>仲の良い方と座る席を近くしたり、同じテーブルにする等の配慮をしている。また、レクレーション中などすべての方が関れる様に配慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>重度化に伴いグループホームから医療機関、併設特養に入所された人がいる。職員と本人、家族のなじみの関係は今も続いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃から思いや意向をくみ取るように努めている。申し送りやケース記録で情報の共有を図り、家族とも相談しながら利用者にとってよりよい支援となるよう努めている。	日々の暮らしの中で、また入所時の情報により思いを把握している。仕草や表情や家族からの情報、申し送りやケース記録等で職員の情報の共有を図っている。家族とも話し合いながら、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にキーパーソンとなる家族から生活歴を伺うこと以外に、ホームで暮らしている中で知り得た本人の暮らしの一端を記録に残し、職員全員で共有し活用している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝の申し送り、バイタル測定の状態を把握して、健全な1日を送れるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族、本人の意向を聞き、職員間で意見を交換、検討をし、その方のプランの作成ができるよう努めている。	本人・家族から意向を聞き主治医や担当職員等の意見を聞き介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に、見直しは6ヶ月毎を基本とし、その他変更時にはその都度見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	24時間の個別記録に記入し職員間で情報の共有に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況を見ながら、家族の要望に応じられるように、各事業所との連絡を行う。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練に消防署の立合いを求め指導を仰いだり共同の訓練を行っている。また、家族の面会や外出の機会をつくり楽しみのある日々になるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望する医療機関での受診を支援している。通院は職員が同伴し、受診前後には家族に連絡を行っている。また協力医療機関の定期的な往診があり、緊急時の医療連携も構築されている。	かかりつけ医は母体の医療機関が主治医となっている。定期的受診は6ヶ月毎に、往診は毎月1回実施している。24時間医療連携体制ができている。歯科は往診である。皮膚科・眼科は職員が同行したり、家族が同行されることもある。結果は家族へ報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医の看護師などとよく相談し、健康管理に努めている。また、併設施設の看護師の協力ももらっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者の入院に際しては、疾患の状態が長期の入院加療を要するもの以外は病院関係者と密に連携して早期退院に向けた話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期については、利用開始時に説明して同意を得ている。状態変化時の対応も主治医の指示の下に行う事を家族にも説明を行っている。</p>	<p>契約時に「重度化や終末期に向けた方針」を基に説明し同意書を得ている。マニュアルがある。状況変化に伴い主治医が説明し、本人や家族の希望する方向性を確認しながら、希望に添えるように支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変、事故のマニュアルを備えて発生時に備えている。定期的に急変時、事故発生時、火災発生を想定した訓練を行っている。また、法人での研修会に参加し実技指導を受けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署立合いで、火災・地震水害を想定した法人全体の避難訓練を実施している。災害時は隣接の特養からの協力体制が確立されている。施設内に備蓄品は水・米・缶詰・介護用品等がある。</p>	<p>消防署の指導の下、年2回昼夜を想定しての避難訓練を実施している。自主訓練も年1回行っている。全体で訓練実施の時は他の施設からの協力体制がある。避難後の合図も用意している。備蓄としては施設内で保管し、水・米・缶詰・インスタント食品等がある。ガスボンベ・介護用品等は3～4日分準備している。法人でも備蓄し、避難先は特別養護老人ホームで、発電機もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けの際は気を付けているが、時に声が大きくなるため、注意しその方にあった声掛けができるよう心掛けている。	接遇については定期的に2ヶ月毎に勉強会を実施している。トイレや入浴時の声掛けはちいさな声でさりげなく行い、羞恥心に配慮している。入室時はノックを行い、申し送り時は番号で、呼称はさん付で支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	物事が複雑である場合は必ず選択して頂く様に配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務に追われる事が多い中で、利用者との共同作業を通じて共に歩むケアに取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご自分でできる身だしなみはして頂いている。衣類等に関しては、清潔な身だしなみができる様に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の嗜好、食事形態、服薬中の薬の影響等を把握して、養護の栄養士が作成した献立表で調理している。食材の下ごしらえや下膳等は利用者も一緒に行っている。</p>	<p>同法人の栄養士が献立を作成し職員が食事を調理している。菜園があり利用者と一緒に収穫をして食している。誕生日は好きな物を聞いて提供している。ケーキや和菓子等は手作りをしている。行事食は栄養士と連絡を取り合って工夫している。下膳など職員と一緒にしている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日の食事の摂取量のチェック水分摂取の把握を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後働きかけを行い口腔ケアを行っている。出来る方は見守り、出来ない方は洗面所まで誘導し促しや介助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>定期的なトイレ指導の他、本人の訴えの際は、介助を行なっている。</p>	<p>排泄チェック表をもとにトイレ誘導している。トイレに移動しての排泄を基本として、見守りや支援をしている。夜間のみオムツの人もいる。トイレに常時移動することにより、リハビリパンツから布パンツへ改善できた事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は野菜やイモ類等食物繊維を取り入れ水分補給に努めている。施設内の歩行や散歩など運動への働きかけ、ADLの中で、声をかけ屈伸運動を行っている。排泄チェックは毎日行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に週3回入浴日を決めているが利用者の体調や希望にあわせて対応している。	入浴は週3回午前中であるが、本人の希望や体調に合わせて柔軟に対応している。浴室や脱衣場の温度管理をおこないゆず湯なども用意している。拒否の場合は、タイミングやスタッフの交代等の工夫で対応している。特浴が必要なときはデイの浴槽を借りることができる。シャワー浴も実施している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の体調に合わせて、自室での休息や臥床を促している。また、気持ち良く休まれるように就寝前に布団乾燥機を用いたり、天気の良い日は寝具を干し清潔を保っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が十分に理解し服用の間違い、誤薬のないように職員複数で確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>カラオケ、散歩、ゲーム、誕生会等その方に応じた個別支援に努めている。また、特養の行事にも参加し楽しんでいる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>利用者様の健康状態に合わせて、外出の支援をしており、家族の協力が得られる方は、外出、外食に出掛けられている。</p>	<p>定期的受診時や外出した時に、花見ドライブをしたり、入所前に住んでいた家を見に行く機会を作っている。広い敷地内を散歩して外気浴や新茶の時期にお茶会を楽しんでいる。コロナが終息すれば花見や鶴見物・ブドウ園にも行くように検討している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在は、所持している方はいない。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話や手紙のやり取りは自由に行っている。また本人が出来ない場合は職員が手伝っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間の食堂と談話室の壁には利用者が作成した季節感のある作品を飾っている。利用者が居心地良く過ごせるように座席の配慮をしている。</p>	<p>共用空間は明るく、温度・湿度・換気に注意し、空気清浄機、加湿器があり、新鮮な空気が窓を開けるといっばい入ってくる。広い中庭があり、ホールの壁には利用者や職員で作成して作品が掲示してあり、季節が感じられるように工夫されている。ホールから台所が見え家庭的である。ゆったりくつろげる空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共通空間の談話室では、テレビを観たり、カラオケで唄ったり、また各々会話を楽しんでいる。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が使い慣れたものや、日常にお参りしてみえた遺影を置いてもらったり、家族写真等が飾ってある。</p>	<p>洗面台・床頭台・エアコン・ベッド・押し入れが設置され、寝具はホームのものであるが、希望により持ち込みも可能である。個々に家族写真や時計・使い慣れた小物を持ち込み、自分らしく暮らしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室は間違えないよう名前を表示している。杖や歩行器、車椅子を利用される方もある。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない